

株主の皆様へ

**第53期** 2015年4月 1日  
2016年3月31日  
**報告書**

日本空調サービス株式会社

# 経営理念

日本空調グループは、

**お客様に安心感を与える最適な環境を維持するために、  
技術力と人的資源を結集させ、高品質サービスを提供する**

という経営理念を全社員が共有し、

一丸となってお客様の満足度のより一層の向上を追求しております。

1964年の設立以来、建物設備メンテナンスに携わる独立系企業グループとして、  
故障・事故を未然に防ぐ「予防保全」の概念を事業化し、空調のみにとどまらず、

電気、給排水、衛生等を含めた建物の

設備システム全般を対象とした

ビジネスモデルを構築してまいりました。

これからも、建物設備のメンテナンスサービスを通じて、

建築物に要求される最適な環境を実現する

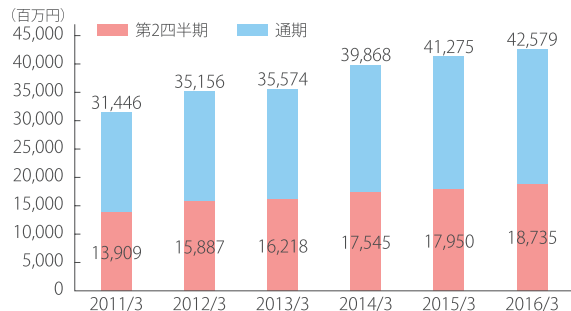
「環境創生企業」として社会に貢献することが、

私たち日本空調グループの

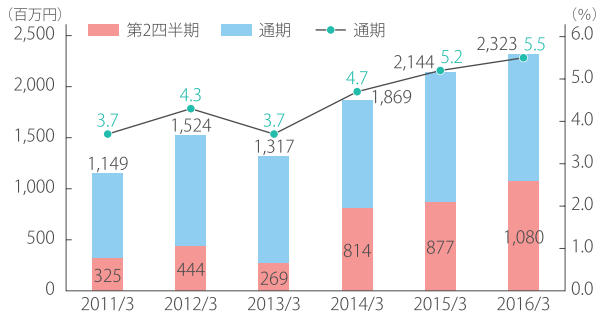
使命であると考えております。

## ● 連結経営成績

### 売上高



### 営業利益・営業利益率



国内での着実な事業展開とともに、  
海外への進出を加速させ、  
全てのステークホルダーの幸せを  
追求してまいります。

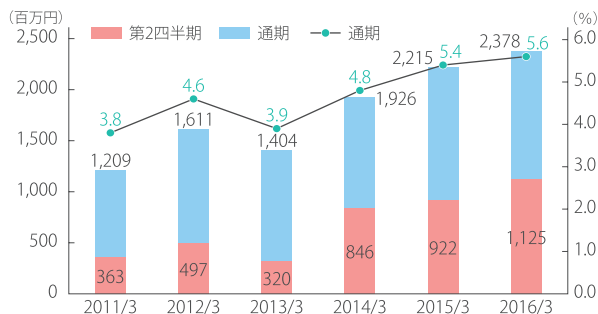
株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
ここに当社第53期(2015年4月1日から2016年3月31日)における営業の  
概況ならびに決算の内容等につきましてご報告申し上げます。  
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解と  
ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2016年6月

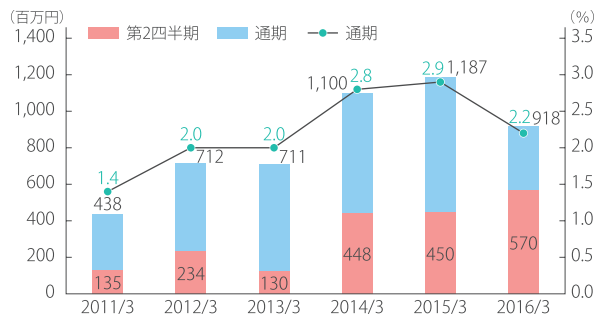
代表取締役社長 **橋本 東海男**



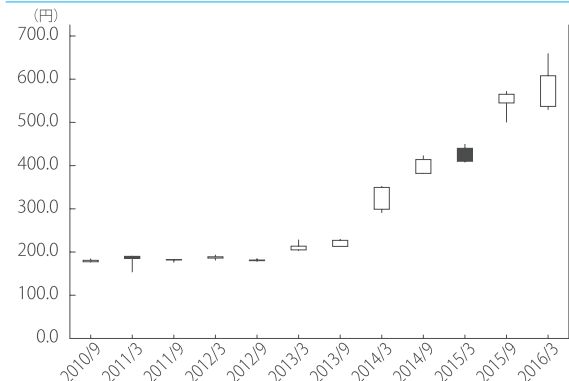
経常利益・経常利益率



親会社株主に帰属する当期純利益  
親会社株主に帰属する当期純利益率

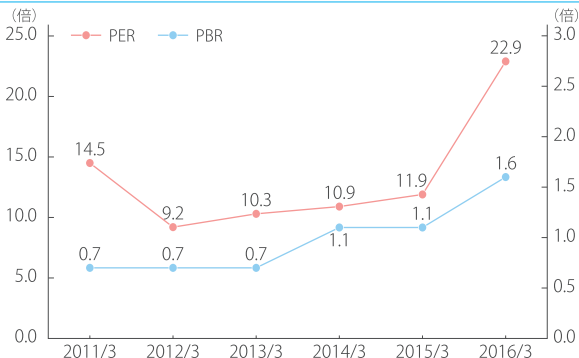


## 株価

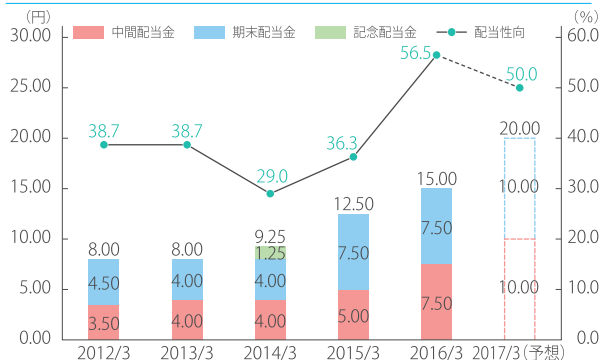


※2014年4月1日付、2016年4月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。  
 ※2016年3月期以前の株価につきましては、上記株式分割を調整した金額としております。

## PER (株価収益率)・PBR (株価純資産倍率)

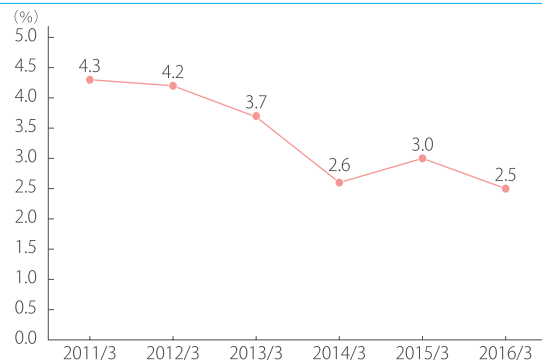


## 1株当たり配当金・配当性向

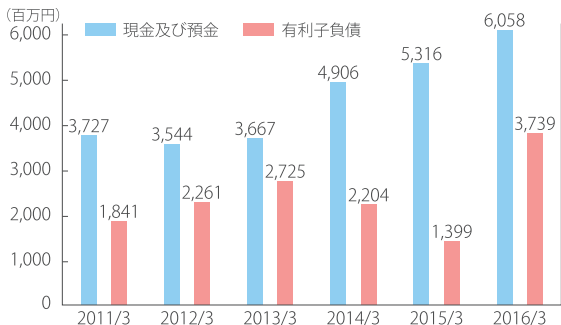


※2014年4月1日付、2016年4月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。  
 ※2016年3月期以前の配当金の額につきましては、上記株式分割を調整した金額としております。

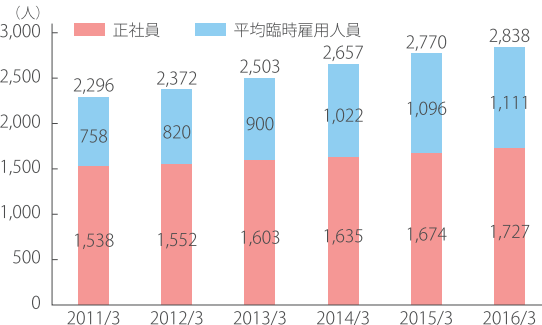
## 配当利回り



## 財務状況



## 従業員数



橋本  
東海男

代表取締役社長



田中  
洋二

取締役執行役員経営企画部長

# Special Talk Session

2016年度を初年度とする「2016中期3ヵ年経営計画」を策定。  
その狙いと戦略について語る。

「2013中期5ヵ年経営計画」の2年前倒し達成と「2016中期3ヵ年経営計画」の新規策定。新たな計画の狙いと国内外での戦略について、代表取締役社長 橋本 東海男と取締役執行役員経営企画部長 田中 洋二がトークセッションを繰り広げました。



なったため、その内容を一部見直すことにしたのです。

**田中:**その見込み通り、2015年度において2013中期計画の数値目標を達成できた訳ですが、要因としては、病院や製造工場等の特殊な環境を有する施設（以下、「特殊施設」）に傾注したことや、単なる売上規模の拡大ではなく適正な利益を追求してきたことが挙げられますね。2015年度の業績は売上高が5期連続、営業利益・経常利益が2期連続で過去最高を更新しており、この戦略が奏功したといえます。

**橋本:**売上至上主義では誰も幸せ

にならない。全てのステークホルダーの幸せを追求するためには適正な利益を確保できる体制を作らなければならない。そのために、当社は高度な技術力が必要とされる特殊施設に高品質サービスを提供し続けているのです。これらの方針は2016中期計画においても重要な経営戦略と位置付けて継続していきます。

**田中:**確かに特殊施設への傾注は当社の成長の根幹となる非常に重要な部分ですよね。「広く浅く」ではなく、他社が真似できない分野に絞り込んで「狭く深く」という方針です。

## 特殊な環境を有する施設への傾注と海外展開の加速。

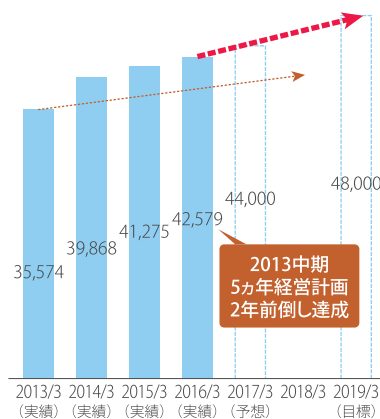
——このたび2016中期3ヵ年経営計画（以下、「2016中期計画」）を策定されましたが、概要についてお聞かせください。

**橋本:**もともとは、2013年度を初年度とする2013中期5ヵ年経営計画（以下、「2013中期計画」）を策定し、着々と遂行していましたが、2013中期計画の3年目に当たる2015年度において、2年前倒しで最終年度の数値目標を達成できる見込みと

### ● 数値目標

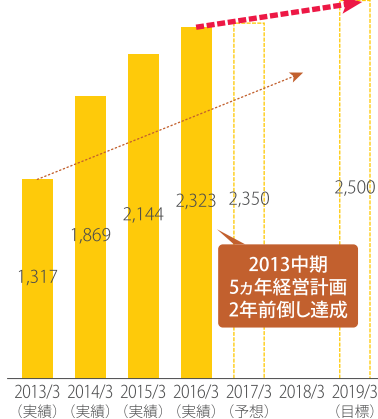
連結売上高(百万円)

2016中期  
3ヵ年経営計画  
新規策定



連結営業利益(百万円)

2016中期  
3ヵ年経営計画  
新規策定



一般的なオフィスビルではメンテナンスフリー化が進んでいるため、設備管理に専門的ノウハウや技術が必要とされないケースが増えているんです。そのような施設をターゲットとして規模を拡大していくことも可能ですが、それは結局、力を分散させる結果となり、全体的な技術力の低下にも繋がりがかねません。

**橋本:**2013中期計画については、先ほど田中が申したように、数値目標を前倒し達成しましたが、それ以外の特殊施設の売上比率75%以上や全都道府県進出等はまだクリアしていませんから、2016中期計画

に引き継いで達成を目指していきます。

——特殊施設への傾注について、具体的にはどのような施設をお考えですか？

**橋本:**従来から力を入れている病院関係は引き続き最重要ターゲットとして考えています。昨今、特に地方都市においては小・中規模病院の統廃合が進み、地域の基幹病院が建てられる事例が増えています。そのような再編のタイミングは当社にとって大きなチャンスなのです。

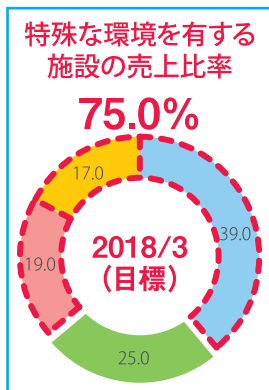
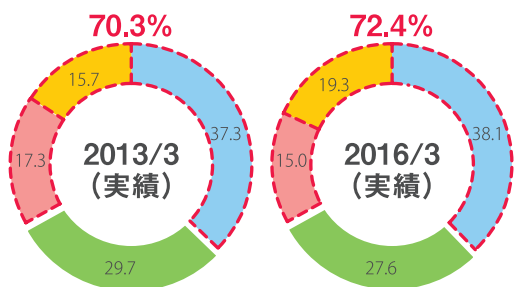
**田中:**病院の統括管理は当社の最も得意とするところですからね。あ

と、最近では医薬品や飲料関連の製造工場における施設管理にも注力しています。

**橋本:**なぜなら海外移転しないから。非常に高精度な施設管理が求められる分野ですし、特に飲料関連は海外から日本に輸送するコストの面で採算が合わないためお客様が海外進出するメリットが少ないんですよ。製薬関連もクリーンルームの清浄度管理の基準等が一層厳しくなっており、当社の高度な技術力とサービス力を生かせるフィールドが更に広がっているといえます。

### ● 受託施設別連結売上構成 (%)

■ 病院及び研究施設 ■ オフィスビル  
■ 特殊建築物 ■ 製造工場等



当社の高度な技術力が最大限に発揮できる  
特殊な環境を有する施設に傾注する



——国内の拠点網拡充も順調ですか？

橋本：全都道府県進出まであと1歩です。2015年4月には香川に子会社（日本空調四国株式会社）を設立し、徳島・愛媛にも同社の営業所を開設しました。また、2016年4月に奈良と沖縄に営業所を開設し、残すところ鳥取と高知のみですが、2017年度までに必ず進出します。

田中：拠点網とは少し違いますが、富山の子会社（株式会社日本空調北陸）が売電事業に注力しており、2015年度にメガソーラーを4基新設して合計5基を有することとなりました。5基合わせて計6.4MWの発電能力で、年間2億円以上の売上を見込んでいます。

——国内での着実な展開とともに、2016中期計画の経営戦略において「海外展開を積極的に推進する」とありますが？

橋本：確かに現在は国内において順調に成長しております。では、この成長が今後も続くと考えられるでしょうか？私には2020年の東京オリンピック以降、日本が大きく成長していく青写真は見えません。では、経営者としてどんな判断をすべきか？



大阪支店 奈良営業所



東京支店 沖縄営業所

私は日本の何十倍もの市場がある海外へ積極的に展開することを決めました。

田中：当社は1999年に中国へ海外初進出を果たしました。そして、



NACS BD Co., Ltd.



Evar Air-conditioning & Engineering Pte Ltd

2015年度はバングラデシュ、シンガポール、2016年6月にはタイと、現在4カ国に進出したこととなりますね。今後もアジア全域を経済圏として捉え、海外展開を加速させていかなければなりません。

橋本：現在、アジアには多数の日系企業が進出していますが、建物設備メンテナンスに困っているという話をよく聞きます。「日本空調さんに早く来てほしい。」という嬉しいご要望もいただいております。2017年度までに少なくともあと3カ国には進出した



## ● 2016中期3ヵ年経営計画

2019年  
3月期までに

新規

連結売上高480億円・営業利益25億円・  
経常利益26億円・当期純利益※16億円

※親会社株主に帰属する当期純利益

新規

1株当たり当期純利益45円※

※2016年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行ったことによる調整をしております。

2016年3月期  
56.5%

連結配当性向50%

2016年3月期  
72.4%

特殊な環境を有する施設の売上比率75%以上

2016年5月末  
現在  
あと2県

全都道府県に営業拠点網展開

いと考えています。今後は、「国内での特殊施設への傾注」とともに「海外への積極的な展開」が日本空調グループの事業基盤の両輪となるでしょう。

——最後に、株主還元についてお聞かせください。

橋本：2016中期計画にて「配当の原資となる利益を継続的に向上させるとともに、配当性向の水準を段階的に引き上げ、2018年3月期には連結配当性向の目安を50%とし、これを維持していく」としています。

田中：実は、2015年度の連結配当

性向は56.5%で2016中期計画の目標を超えています。でも、これは特別損失※を計上したことにより最終利益が減少したからであり、「原資となる利益を継続的に向上させる」という目標には合致していません。そのため、2016年度の連結配当性向は最終利益をしっかりと向上させることを前提として50.0%を目指します。

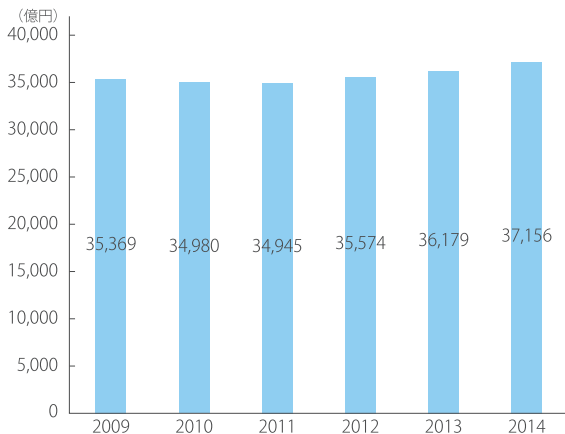
橋本：2016中期計画では2018年度の1株当たり当期純利益45円を目標としています。これまでお話しした経営戦略をしっかりと推進することで企業価値を一層高め、株主の皆様への利益還元を始めてして全

てのステークホルダーの幸せをこれまで以上に追求してまいります。

※子会社において退職給付引当金の見積り方法の変更による特別損失582百万円を計上

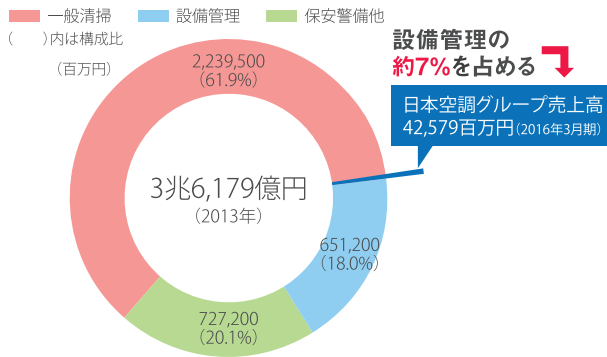


## ●ビルメンテナンス業界市場規模



※全国ビルメンテナンス協会「歴年の業界の総売上」「歴年の実態調査の概況」の推計値より計算  
 ※NTTファンリティアズ「ビルメンテナンス業界の動向」より

## ●業種内容別売上構成



### 業界の特徴

- 概ね100億円以上の売上のビルメンテナンス大手は数十社程度
- 1社当たりの平均売上高は約1億円に留まる

●発行可能株式総数 36,000,000株

●発行済株式総数 17,892,000株

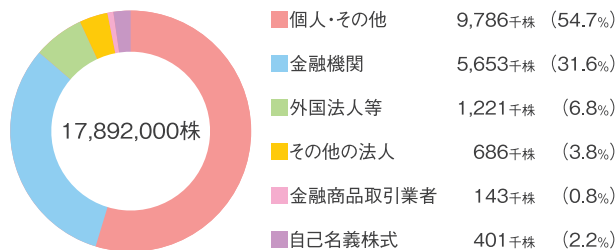
●株主数 4,311名

### ●大株主の状況

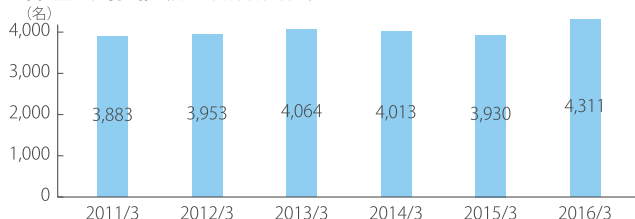
株主名	持株数(千株)
日本空調サービス従業員持株会	1,564
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,034
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	966
株式会社三菱東京UFJ銀行	820
株式会社愛知銀行	668
東京海上日動火災保険株式会社	564
岐阜信用金庫	400
CBLDN KIA FUND 136	352
林和子	331
岡地修	289

※当社は自己株式(401千株)を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

## ●所有者別株式分布状況



## ●株主数推移 (自己・機構名義含む)



# 会社概要

(2016年6月28日現在)

- **商号** 日本空調サービス株式会社  
Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.
- **住所** 〒465-0042  
愛知県名古屋市名東区照が丘239番2
- **T E L** 052-773-2511 (代表)
- **設立** 1964年(昭和39年)4月28日
- **資本金** 1,139,575千円
- **従業員数** 973名(2016年3月31日現在)

## 役員

取締役				
代表取締役社長	橋本	東海	男	
取締役	草野	幸	士	
取締役	田中	洋	二	
取締役	中町	博	司	
取締役	室谷	敏	彰	
取締役	景山	龍	夫	
取締役	森田	尚	男	

監査役				
常勤監査役	渡邊	資	史	
監査役	杉山	文	廣	
監査役	佐伯	典	久	
監査役	寺澤		実	

- (注)1.監査役 佐伯典久氏及び寺澤実氏は、社外監査役です。  
2.監査役 佐伯典久氏及び寺澤実氏は、東京証券取引所及び名古屋証券取引所に独立役員として届け出ております。

- (注)1.取締役 草野幸士及び田中洋二は、執行役員を兼務しております。  
2.取締役 景山龍夫氏及び森田尚男氏は、社外取締役です。  
3.取締役 景山龍夫氏及び森田尚男氏は、東京証券取引所及び名古屋証券取引所に独立役員として届け出ております。

執行役員				
執行役員	中村	秀	一	
執行役員	中司		等	
執行役員	花田	良	徳	
執行役員	草野	幸	士	
執行役員	田中	洋	二	

執行役員				
執行役員	依藤	敏	明	
執行役員	松本	恒	臣	
執行役員	首藤		健	
執行役員	松井		正	
執行役員	渡邊	一	彦	

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所、名古屋証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.nikkei.co.jp">http://www.nikkei.co.jp</a> (ただし、電子公告によることのできない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

### (ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

日本空調サービス(株) 本社・支店・営業所: **53** 拠点

グループ会社 国内10社: **37** 拠点 / 海外6社: **8** 拠点

アジア圏



バングラデシュ 拡大



中国 拡大



タイ 拡大



シンガポール 拡大



- 蘇州日空山陽機電技術有限公司
- 上海日空山陽国際貿易有限公司
- NACS BD Co., Ltd.
- Evar Air-conditioning & Engineering Pte Ltd
- NACS Singapore Pte. Ltd.
- NACS TPS ENGINEERING CO., LTD.

- 日本空調サービス(株)
- 日本空調システム(株)
- (株)日本空調岐阜
- (株)日本空調北陸
- (株)日本空調東北
- (株)日本空調東海
- 西日本空調管理(株)
- 東日本空調管理(株)
- 日空ビジネスサービス(株)
- イーテック・ジャパン(株)
- 日本空調四国(株)

※拠点数につきましては、2016年6月13日現在で表記しております。

